

# 道路空間利活用・空間再編の事例

## ～海外事例～

### シャンゼリゼ通り

フランス パリ市

- シャンゼリゼ通りは、パリ市内北西部の第8区を横切る約3km、幅員70mの大通りです。1990年代前半までのシャンゼリゼ通りは、側道の路上駐車や屋外広告物が氾濫する道路でしたが、1990年代に側道を閉鎖して歩道の拡幅工事を行い、歩行空間の確保とともに植栽を2列にするといった空間再編を行っています。
- 歩行者空間を優先した空間再編や駐車場の地下化、建築物や屋外広告物の規制により、現在の美しい道路空間が生まれ、現在では、パリ市内で最も美しい通りと称され、オープンカフェなどにより賑わいを見せています。



写真出典：Tutti Frutti / Shutterstock.com

### ブロードウェイ

アメリカ ニューヨーク市

- マンハッタンの交通問題に対応するため、調査を実施したところ、人、車、公共交通があふれており、歩行者や自転車にとって快適な空間をいかに生み出すかが課題となっていました。2009年5月に社会実験として、7番街と斜めに交差するブロードウェイの42丁目から47丁目の区間の車道が歩行者専用空間化されました。
- 実験の結果、歩行者が増加、車道での事故が減少し、恒久的な整備が行われ、憩いの空間を創出するとともに、イベントやカフェ等が開催されています。



### スワンストンストリート

オーストラリア メルボルン市

- スワンストンストリートは、オーストラリアのメルボルンの中心にある大通りです。以前には、メルボルンで最も渋滞のひどい道路で、マイカーを使わないカーフリーという考え方が、1990年代から支持を得ていました。
- 2010年～2013年に「車優先から人優先」をめざして、車を排除し、歩行者、自転車、トラムの空間に再編しています。



御堂筋完成80周年記念事業 2017

世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ。

詳しくは御堂筋完成80周年のホームページをご覧ください。

<https://mido-suji80.info/>

